

# 宮崎ロータリークラブ週報



2023-2024 Theme

no. 31

発行 | 2024年2月27日 | 担当 | 堤 太郎

## ■ 前回の例会記録

第3417回 2024年 2月20日(火)

### 【会員卓話】

国際奉仕委員会 山田 俊介 委員長  
ティティズイン 会員

### 出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く) 102名  
例会出席会員数 71名  
同上出席率 69.61%

## ■ 今回の例会予定

第3418回 2024年 2月27日(火)

### 【ゲスト卓話】

劇作家・演出家・宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター  
立山 ひろみ 様  
「違いをたしかめて〜ろう者と聴者でつくる人形劇団  
デフ・パペットシアター・ひとみ 『河の童』を演出して〜」

## ■ 次の例会予定

第3419回 2024年 3月5日(火)

### 【職業奉仕賞贈呈式】

100%出席例会

## ■ 幹事報告

- 配布物
  - ・週報No.30・職場訪問の案内
- 報告
  - ・能登半島義援金 2月 54,350円 1月と合わせて114,300円 送金済み
  - ・定例親睦会・25日第3回会長杯ゴルフコンペ
- 告知
  - ・職業訪問について
  - ・ライラについて



## Happy Box

池ノ上 克 ガバナー

昨日の大学理事会で、4月から九州医療科学大学学長就任が決まりました。宮崎ロータリークラブの皆様には、さらなるご支援をお願いいたします。

## ■ 会長の時間



岡本 俊則 会長

皆様こんにちは昨日の宮日新聞ご覧になりました?ポールマッカートニーのあのバイオリンベースが51年振りに発見されたとの記事がありました。1972年10月に車から盗まれたものの様です。私の中では実にタイムリーだなと思ひながら記事を読みました。

さて、今日はギター転向の続きからです。丁度この頃当時クロスオーバーと言われたJAZZとROCKを掛け合わせたおしゃれなサウンドが流行し始めました。後にフュージョンと言うカテゴリーが確率されて海外ではラリー・カールトンやリットナー、が牽引し、国内ではカシオペアやF1のテーマ曲でお馴染みのスクエア等、軽快なリズムに乗せてテクニックを競う演奏が主流となりました。

ミーハーで流行に乗りやすい私としては迷わずこの道を選択、これまでのフォークやロックをあっさり切り捨て、ひたすらテクニクの習得に走り始めます。そうすると楽器の選択は極めて大切な要素となります。そこで選んだのがこの一本です。(画像②)ヤマハのSF1000と言うエレキギターです。

定価で10万円のギターですが高校一年生の私には非常に高価なものでした。このギターを買った経緯(財源)はここにいる先輩の数名はご存じですが今日はお話致しません、このギター非常に優れたスペックを持ったもので、まずフレットですが、ネックのこの金属の部分をフレットと呼びます、通常のギターは22フレットですがこれは24フレットです。1フレットが半音ですので一音上の音を出すことが出来ます。メーカーによっては21フレットが定番というものもありますので相当先鋭的なものでした。次にピックアップです(画像③)この部分です。これは音を拾うためのパーツでマイクのようなものです。文字通り弦の振動をピックアップするものですがタイプは大きく二通りのタイプがあり二大エレキギターメーカーの一つフェンダーが主に使用しているのはシングルコイル、(画像④)のもので、軽やかなトーンと切れの良さが特徴で、一方のギブソンはハムバッキングと呼ばれるものを使用しているケースが多く、これはシングルコイルを並列で二列に繋いだもので粘りとパワーが特徴です。(画像⑤)それぞれに音色やパワーに特徴があり曲やジャンルによって選択が出来ます。私のこのギターはハムバッキングのピックアップ搭載していますが、当時のヤマハ独自のバイサウンドシステムという機構(画像⑥)により、このボタンだけで前述の二種類の音の切り替えが出来ると言う優れものです。今でもいい音がします。

私は今現在、〇〇本のギターを所有していますが自分が死んだらこのギターだけは一緒に棺桶に入れてくれと家内に頼んであります。高校から大学の間、私はこのギター一本を抱え何処でも飛び込んでギターを弾いていました。武者修行の様にジャンルにこだわらず求められるがまま何処へでもお手伝いに行きプレイをしていました。頼まれた時にすぐに弾けるように、当時流行っていた曲は殆どと



言って良いほどコピーをしていました。(チューリップやゴダイゴ、もんだ、八神純子、庄野真代、等等...)このお陰でいろんな意味で音楽の幅が大きく広がった様な気がします。

大学3年の頃転機が訪れます。大学1年から2年までは寮(食事付き)で生活をしていましたが3年になると同時にアパートに引っ越し(寮では出来ない色々な事がやりたくて)一人暮らしを始めました。この頃、憧れていた先輩からコピーのたしなみを教わり、持ち前のミーハー心が炸裂しミルを購入、豆に拘り一端のコーヒー通を気取りはじめました。思いっきり背伸びをして通好みの喫茶店にも時々通うようになりました。

そこで“とうとう”出会ってしまったのが、モダンジャズ「オスカー・ピーターソン」カルテッドです。ある日突然、そのお店に大型のモニターが設置され元々あったマッキントッシュのチューブアンプとJBLの大型スピーカーを介して客席に届けられたそのサウンドと映像に私は、度肝を抜かれました。数秒でその世界に引き込まれ放心状態となっていました。その中でもギター「ジョー・パス」の演奏はこれまでの私のギター人生の中で最も衝撃的なものでありました。それからと言うもの毎日毎日この音が聞きたくて、この映像が見たくて、たまりません!私のバイト代の殆どはこの店に消えていきました。

そしてここから私はどんどんJAZZギターへ傾いて参ります。今日のお話はこのあたりで終わります。続きはまた来週。ご清聴有り難うございました。



## ■ 会員卓話



宮崎大学工学部教授  
ティティズイン 会員

宮崎大学工学部情報通信工学プログラム教授のThi Thi Zin(ティティズイン)です。

東南アジアのミャンマー出身です。ヤンゴン大学理学部数学科を卒業後、ヤンゴンコンピュータ大学の情報科学専攻修士課程を修了しました。ミャンマーでは4年間、ヤンゴンとマンダレイコンピュータ大学で助手、助教、講師を務めた経験もあります。その後、2001年の春に来日しました。

進学した大阪市立大学大学院工学研究科では、全日空の岡崎嘉平太国際奨学財団の奨学生として、電子情報系専攻で前期、後期博士の学位を取得しました。日本での留学経験は恩師やホストファミリーにも恵まれ、とても充実した毎日でした。

### 自己紹介・学歴

1999年9月 ヤンゴンコンピュータ大学 大学院 工学研究科 電子情報系専攻 修士課程 修了

2001年 大阪市立大学 大学院 工学研究科 電子情報系専攻 前期博士課程 修了

2004年3月 大阪市立大学 大学院 工学研究科 電子情報系専攻 後期博士課程 修了

2007年3月 大阪市立大学 大学院 工学研究科 電子情報系専攻 後期博士課程 修了

### 自己紹介・職歴

1997年6月 ヤンゴンコンピュータ大学 助手

2000年6月 マンダレイコンピュータ大学 講師

2007年4月 日本学術振興会 (JSPS) 外国人特別研究員

2009年10月 東京大学 生産技術研究所 特任研究員

2010年4月 宮崎大学 工学教育研究部 准教授

2010年4月 大阪市立大学 大学院 工学研究科 電子情報系専攻 特任助教

2013年11月 宮崎大学 工学教育研究部 教授

2016年3月 現在 宮崎大学 工学教育研究部 教授

2013年、新たなご縁を頂き、宮崎大学工学部電気システム工学科准教授へ就任し、後に宮崎大学工学部初の女性教授となりました。

2013年11月、宮崎大学工学部 准教授に就任しました。

### 次のマイルストーン

2016年3月に宮崎大学工学部の最初の女性教授として教授職に昇進しました。

今回のゲスト卓話では私の母国ミャンマーについてお話させていただきます。皆様にミャンマーの事を少しでも知って頂けたら幸いです。ミャンマーの正式名称は「ミャンマー連邦」で東南アジアに位置しています。共通語はミャンマー語であり、大多数の人は仏教徒です。夏、雨期、冬の3つの季節があります。挨拶の言葉は、「ミンガラパー」で、おはよう/こんにちは/こんばんはの意味を持ち、時間によるあいさつの変化はありません。

### Native Country (ミャンマーの紹介)

Country	ミャンマー連邦共和国
National flag (国旗)	
Location (位置)	東南アジアに位置
Area (面積)	676,553 sq km
Population (人口)	52.4 million
Common language (共通語)	Myanmar
Climate (気候)	3 seasons (summer, rainy, and cold season)
Religion (宗教)	Buddhism (89.2%), Christianity (5.0%), Islam (3.8%), Hinduism (0.5%), Spiritualism (1.2%) and others (0.2%)

天然資源である、宝石(サファイア、ルビー、パール)、天然ガス、木材、鉱物などが豊富に採取できます。

### Greeting Forms

မင်္ဂလာပါ  
ミンガラパー  
mingalar par

It is used for  
 > Good morning,  
 > Good afternoon,  
 > Good evening for all times



次に、両国の共通点と相違点をお話します。

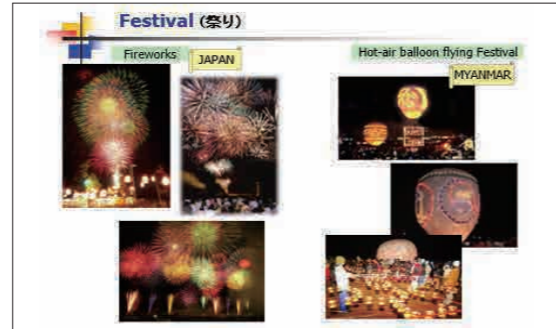
教育面では、日本では小学校6年・中学校3年・高等学校3年と通いますが、ミャンマーでは小学校5年・中学校4年・高等学校2年と少し異なります。ただ基礎レベルを除けば、大学レベルの修業年限は同じです。

文化的な面では、国民の多くが仏教徒のため、寺院が至る所で見られます。ミャンマー人も日本人と同じように花が好きで、日本での桜の時期に、「パダウク」というよく似た綺麗な花が咲きます。ミャンマーのお正月を象徴する花です。

実はミャンマーの新年は4月17日であり、新年祭は水祭りとも呼ばれており、水を掛け合い、新年をお祝いします。

お祭りといえば、ミャンマーには世界でも有名なお祭りがあります。それは「熱気球飛行祭り」と言ってミャンマーで最も有名な祭りと言われています。様々な形の巨大な手作りの気球に松明を灯して飛ばします。

135の民族で構成される東南アジアの不思議な国…。皆様に伝えたい魅力がまだまだたくさんありますが、とても書ききれませんので、ご興味のある方、ご旅行の際はぜひお声がけください。おすすめスポット・美味しい食べ物をご紹介します！



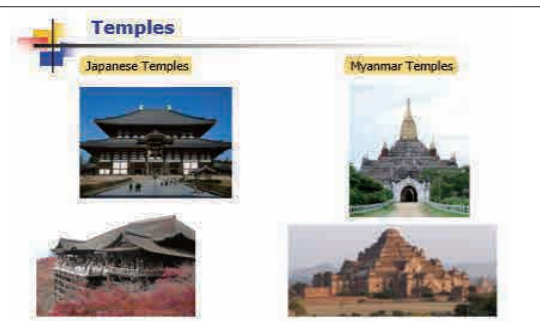
また、自身の留学や研究の経験を活かして、日本とミャンマーの懸け橋となるべく、両国の科学技術発展に尽力し、共に時代を作っていく研究者の育成に力を入れています。その夢のために様々な活動を行っています。

①宮崎大学とミャンマー国科学技術省との間で学術交流包括協定(MOU)を締結支援  
 ②工学研究科修士課程DDP(ダブルデグリープログラム)の推進  
 ③JST日本・アジア青少年サイエンス交流計画を活用した若手研修生の受け入れ  
 ④宮崎大学ヤンゴンオフィス開所や、産官学交流会開催の支援

**Similarities & Differences (日本と違う点、同じ点)**

**Education System (教育制度)**

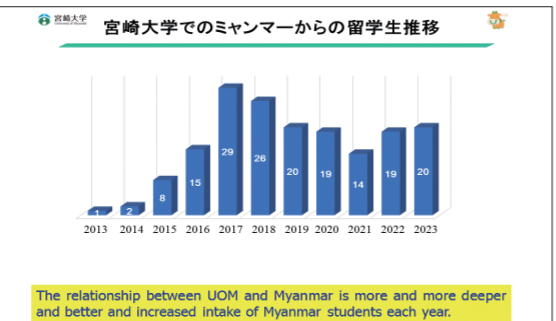
In Japan,	In Myanmar,
Primary School : 6 yrs	Primary School : 5 yrs
Junior High School : 3 yrs	Junior High School : 4 yrs
High School : 3 yrs	High School : 2 yrs
University	University
Undergraduate : 4 yrs	Undergraduate : 4 yrs
Postgraduate	Postgraduate
Master : 2 yrs	Master : 2 yrs
Ph.D : 3 yrs	Ph.D : 3 yrs



University of Miyazaki - Look at the world, Start with the Community

**グローバル人材育成のための国際交流**

- 宮崎大学とミャンマー国科学技術省との間で学術交流包括協定(MOU)を締結支援
- 工学研究科修士課程DDP(ダブルデグリープログラム)の推進
- JST日本・アジア青少年サイエンス交流計画を活用した若手研修生の受入
- 宮崎大学ヤンゴンオフィス開所や産官学交流会開催の支援



**ミャンマー同窓会**

2020年1月11日  
ホテルヤンゴンマックスホテル

Inaugural Meeting of the UOM Alumni Association in Myanmar

18:00-18:30 Opening Ceremony  
18:30-19:00 Inaugural Meeting  
19:00-19:30 Dinner  
19:30-20:00 Entertainment



ODDPを利用して留学してきた修士課程修了者から多数の学生が本大学博士後期課程へ進学しています。特にAI分野における博士後期課程修了者は代表的な例として「国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター」、「民間企業へ就職後2024年度から本大学の教員」などが実績としてある。

○宮崎大学で「JSTさくらサイエンスプログラム」にて招聘された学生が、研究に興味を持ち本大学博士後期課程へ入学し修了後、国内のAI開発企業へ就職。その後2024年度から本大学の教員として着任します。(宮崎ロータリークラブ奨学生)

ミャンマーから優秀な学生を、日本で教育し、日本で活躍している事例

DDP(Masters Double Degree Program)を利用して留学してきた修士課程修了者から多数の学生が本大学博士後期課程へ進学している。

特にAI分野における博士課程修了者は代表的な例として

- 国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター
- 民間企業へ就職後2024年度から本大学の教員 (宮崎ロータリークラブの奨学生)

宮崎大学で「JSTさくらサイエンス」で招へられた学生が研究に興味を持ち本大学博士後期課程から入学してきた。終了後、国内のAI開発企業へ就職。2024年度から本大学の教員として就職(No Nihar, Ph.D) (宮崎ロータリークラブの奨学生)

最後に私の研究について少しお話させてください。

私の研究分野は、画像処理・認識・理解およびその関連分野です。研究内容は、基礎研究より応用研究が中心となっています。高度な画像処理技術・AI活用により様々な分野の問題を解決することを目的としています。

新しい分野への参入も積極的に挑戦していきたいと考えておりますので、ご興味のある方は一度お話をさせてください。お困りごと聞かせてください。いつでもお待ちしております!この度はご高覧ありがとうございました。

**現在取り組んでいる研究内容**

私の研究分野は、画像処理・認識・理解およびその関連分野です。研究内容は、基礎研究より応用研究が中心です。高度な画像処理技術・AI活用により、様々な分野の問題を解決することを目的としています。

代表的な具体例を挙げれば、

- 農工連携分野**  
ICTを活用した牛のモニタリングシステムの開発
- 医工連携分野**  
自立生活を支援するための高齢者4時間見守りシステムの開発

産官学連携によるローカル5Gを用いたスマート農業実証プロジェクト  
~ICT技術を用いた乳牛の効率的な個体管理をめざす~

**跛行検知システムの開発**



**跛行検知システムの開発**

**実証の目的**

人間の目視では乳牛の歩行異常(跛行)を早期に検知出来なかったため、システムを用いた早期の跛行検知により、重症化の防止と獣医師費用の低減・跛行による乳量損失の抑制・牛の健康状態の維持をめざす

早期に跛行を検知することによる生産者の経営改善効果(売上増・コスト低減)を検証する

健康な牛 vs 跛行牛

自立生活を支援するための高齢者24時間見守りシステムの開発

SENSORSのトップページに掲載されました

This Thi Zin, Yi Hsu, Y. Akagi, H. Tamura, K. Komaki, S. Araki, E. Chono, "Real-Time Action Recognition System for Elderly People Using Stereo Depth Camera", Sensors 2021, 21, 3895. <https://doi.org/10.3390/s21173895>

自立生活を支援するための高齢者見守りシステム

見守りが必要な高齢者に対して  
非接触 (対象者の体に触ることなく)、心理的負担が少ない

**高齢者施設での見守りシステム**

目標とするシステム

入力: 動作を撮影 (Depth画像)  
出力: 行動の可視化・検知

24時間行動ログ  
background, standing, sitting, transition

自立生活を支援するための高齢者4時間見守りシステム

Elder Care Center

撮影環境 (真上から見た画像)  
フレームレート: 5fps  
解像度: 180x320[pixel]

車椅子に座っている高齢者  
Sample Depth Image (Camera View)

3つの部屋の各高齢者に協力してもらい、ステレオDepthカメラを用いて日々の生活を記録した

Institutional Review Board Statement: This protocol was approved by the Ethics Committee of the University of Miyazaki (protocol code O-0051, on 28 January 2019), with a waiver of written informed consent obtained from all participants.

**Rotary**  
第2730地区

宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標**
- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
  - ②池ノ上克ガバナーの活動支援
  - ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
  - ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
  - ⑤例会出席率90%以上の確保
  - ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
  - ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会長> 岡本 俊則  
 <副会長> 藺田 潤子  
 <幹事> 藺田 有美  
 <会報委員会> 福松 修一郎

■例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)  
 ■例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)

日本のひなた 宮崎県